

グラビア	地域を支える人 中川允志さん 吉野 遙さん・香川県琴平町	1
発掘！地域の希望のタネ	広島県福山市 〈児童用ロッカー作製〉	5
給食のじかん	〈コロナ禍における給食運営〉 千葉県松戸市 形山晶子	6
解題	マイナンバーと個人情報保護の行方	8
焦点	新型コロナ対策一〇兆円予備費と財政民主主義 小野亮治	10
書評	川崎あや 著『NPOは何を変えてきたか』 菅原敏夫	16

特集 マイナンバーと個人情報保護の行方

	マイナンバー制度を考える視点 ——特別定額給付金の給付手続きから	三木由希子	18
	監視社会化とマイナンバー制度	武藤糾明	27
インタビュー	自治体の現場からみるマイナンバーカード ——大阪府豊中市	齊藤健文	37
	災害・緊急時における個人情報保護	宮下 紘	42
	医療に関わる個人情報の活用と課題	岩波祐子	50

各県自治研活動レポート	「子ども食堂」を通じた自治労運動 北海道本部	柴田和弘	60
	座談会● オンライン自治研開催の意義	青木真理子 林 鉄兵 三浦一力	62
連載	『月刊自治研』を読む〈第五季〉⑩「月刊自治研」にいただいたある既視感	篠田 徹	68
	自治研センターの機関誌案内		75
	次号予告・編集部から		76

マイナンバーと個人情報保護の行方

新型コロナウイルス対策を契機にマイナンバーカードの活用に注目が集まり、菅新政権がデジタル庁創設や運転免許証のデジタル化を検討し始めた中、これからの個人情報の保護をどう考えるべきなのでしょう。

マイナンバー制度を考える視点
特別定額給付金の給付手続きから
菅新総理がデジタル庁創設を掲げ、マイナンバー制度が新政権の一つの焦点となる中、マイナンバー制度のあり方についての議論に重要な視点とは。
(本誌一八頁)

監視社会化とマイナンバー制度
AIによる顔認証技術と監視カメラの利用は、監視社会化へとつながりかねません。個人の暮らした履歴がデータとして収集される現状の課題とは。(本誌一七頁)



インタビュー●
自治体の現場からみる
マイナンバーカード
——大阪府豊中市

九月からマイナンバーがスタートしましたが、自治体の現場ではマイナンバーカードをめぐる現場から、職員の声がうかがえました。(本誌三七頁)

災害・緊急時における個人情報保護
「医療ビッグデータ法」の運用が本格化し始めました。成長産業としての期待も高まる医療分野での個人情報の活用はどうなっていくのでしょうか。
(本誌四二頁)

医療にかかわる個人情報の活用と課題
「医療ビッグデータ法」の運用が本格化し始めました。成長産業としての期待も高まる医療分野での個人情報の活用はどうなっていくのでしょうか。
(本誌五〇頁)



座談会● オンライン自治研 開催の意義

10月に開催予定だった青森自治研は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、急遽オンラインでの開催となりました。自治研活動としてもはじめての新しい試みの意義について考えます。(本誌62頁)